

平成30年7月豪雨災害に係る住民説明会【北方・南方地区】 質疑応答の概要

日時：平成30年9月10日（月） 19時～21時

場所：本郷中学校 屋内運動場

発言順	質問	発言者	回答・発言要旨	備考
1	ダム放流について、決壊しないと思って放流したのか、決壊もやむなしと思って放流したのか。	県	ダム放流の仕方が決まっており、ルールに基づいて放流した。下流の状況も見ながら、できる範囲での操作を行っており、緊急放流に至る寸前で避ける事ができた。	
	事前放流をしていたのか。	県	7月5日の時点で水位を最大限下げている。7月6日12時ごろに向け予備放流して、水位を下げた状態で一番の大雨を迎えた。	
	緊急放流について市民や市町への通達を何時間前にしたのか。何時間前にしていれば人命を失わずに済んだか。	県	椋梨ダムでは、この度、緊急放流は行っていない。ゲート操作を開始した7月5日18時の1時間10分前、16時50分に関係機関への通知を行い、17時14分から下流に向かって順次サイレンの吹鳴を行っている。関係機関は三原市、警察、消防や県の機関などである。その後、流入量が規定量に達した7月6日18時15分に再度関係機関に通知している。現在のルールで通知したが、周知の見直しについては、あり方検討会の中で検討する。	関係機関(椋梨ダム) 県庁 西部建設事務所三原支所 西部建設事務所東広島支所 三原市 三原市本郷支所 東広島市 東広島市河内支所 尾道市 三原警察 東広島警察 三原市消防指令センター 東広島市消防 中国電力 (株)水みらい JR西日本
	ダム関係者の人員は足りていたのか。ダムの放流はみんなが納得できるような答えを出してほしい。	県	新聞等で人員が少なかったという報道もあったが、椋梨ダムはそのような事はなく、ダムに行く事もできた。	
2	福富ダムと椋梨ダムのそれぞれの放流の累計はどのようになっていたのか。それぞれのダムが連携しながら、放流量と下流の状況を想定して、運用しているのか。	県	二つのダムの最大放流量の時間は、ずれている。福富ダムはゲートがない自然調節のダムで、ゲート操作はない。2つのダムから本郷地区に至るまで長い距離があり、他の川も関係してくるため、ダムだけが下流の状況の原因とは言えない。	

3	<p>県の河川整備計画，おおむね30年と書いてあったが，以前はいつ頃に整備したのか。土砂や樹木が多かったが，その影響があったのではないか。</p>	県	<p>手元に資料がなく，以前整備した時期の詳細な事は分からない。土砂や樹木については，管理基準や対策箇所の優先度の考え方を定めた計画に基づき，計画的に除去を進めているところであった。7月豪雨を受けて沼田川については，10月頃までに緊急を要するものは除去する。被災原因は，あり方検討会で有識者の先生の意見を聞きながら，検討していくこととしており，結果はホームページなどで公表する予定である。</p>	
	<p>2号線の決壊した場所を応急工事しているが，復旧工事のときは護岸工事をしたほうがいいのか。沼田川をはじめ，梨和川，仏通寺川などいろいろな川に被害が及んだが，しゅんせつや樹木伐採の工程表は。</p>	県	<p>今はひとまず応急的にやっている。来年の出水期に間に合うように，しっかりしたもので改良復旧していきたい。 今，沼田川本川を重点的に進めており，梨和川など，緊急性を踏まえながら，可能な限り，今年度に対応したいと考えている。</p>	
	<p>応急仮設住宅の建設場所選定のときに考慮した項目は。</p>	市	<p>本郷町内に市営住宅が1ヶ所しかないため，少し離れるが，なかなか適地がなかったため西部住宅団地に建設する事となった。</p>	
	<p>市の災害見舞金の基準は。</p>	市	<p>市の災害見舞金要綱に基づいている。これとは別に県の見舞金制度があり，県の見舞金は30万円と10万円という区分がある。 また，義援金は床上浸水以上の方に第一次配分をまず行う。 今後，2次配分3次配分と続くが，時期・対象については決まり次第周知する。</p>	
	<p>応急仮設住宅の入居者が少ないようだ。交通アクセスがよくないのではないか。臨時でバスを出すなど，行政が支援すべきではないか。</p>	市	<p>本郷町内に仮設住宅を建設できればよかったが，適地がなかった。 交通の便については入居者の方の意見なども聞きながら対応していきたい。</p>	
	<p>義援金も三原市に入ってきた金額に応じて，被災した方が少しでも元の生活ができるようにしてほしい。</p>	市	<p>災害見舞金の金額については，現在検討しているところなので，もう少し待って欲しい。</p>	
4	<p>原市(北方)では，これまで2,3回被害が発生している。元どおりの復旧では，同じことが起きる。これからどうするかを話す場を設けて欲しい。</p>	市	<p>要望のみ</p>	

5	県から市へダムの放流量と放流時期のお知らせがあった後、なぜ住民に知らせてくれなかったのか。これからは知らせてくれるのか。	市	ダム放流については従前から知らせるということはありません、まずは避難をしていただくというのが一番だったので、水位の上昇を見ながら避難のお知らせをしていましたが、今後は、避難情報等の出し方について、県と調整しながら検討していきたい。	
	「避難指示」などの四字熟語ではなく、もっと分かりやすい表現にして欲しい。	市	情報の出し方については、いかに避難してもらうかと言うことに重点を置きたい。今後は身に迫る危険をより具体的に表現できるよう、検討していく。	
6	仮設住宅に入ると義援金がもらえないと聞いたが、その話は本当なのか。	市	仮設住宅に入っても家屋が損傷していれば義援金は出ます。仮設住宅に入ったので受けられない支援というのは家屋の応急修繕の制度。	
		市	被災者に直接届けるのが義援金。今後、2次配分3次配分と予定されている。	
7	災害で裏山が崩れ、土砂が何メートルも堆積した。ブルーシートで覆っているが、どんどん崩れ、あふれてきている。法面の補強をなんとか早くやって欲しい。	市	予算を組み、一日も早く復旧に向けた支援ができるよう取り組んでいく。	
8	旧本郷橋の架け替え案はありますか。もし、架け替えなどあって、将来立ち退きになるなら、今お金をかけて修繕するのは無駄遣いになる。	県	あり方検討会で沼田川の改良復旧について検討されるため、この場では回答できない。	
9	裏山が崩れ、給湯器などに被害が出た。何割でもいいから補助がないか知りたい。	市	小規模崩壊地復旧事業で地目が山林であれば15%の自己負担で復旧工事ができる事業がある。市内500ヶ所以上あるので、現地の状況などを精査のうえ、相談に乗っていきたい。	
10	家が全壊となり、家屋の解体して建て直す予定。市で解体をお願いした場合、いつになるかわからないと言われた。	市	災害廃棄物対策チームで受付開始から1ヶ月で530件の申込がある。今400件の現地調査が終わったが、業者数に限りがある。ご自身で作業し、後ほど償還する制度もあるので、できるだけ早くと言う事だったら、ご自身でやって、償還の申請をしていただけたら。	
	60年前くらいに川が決壊し、床下浸水だった。今回、50年に1度の大雨と言うことで、同じくらいかと思っていれば床上1m50~60cmくらい浸かって全壊。避難勧告などは、もっと具体的に数字を出して欲しい。	市	具体的な数字は難しいが、今後は身に迫る危険性をメッセージとして入れて発信していきたい。	

1 1	土砂撤去について、業者に頼んだら三原市が費用を出すことになっているが、個人で土砂撤去した場合、助成金等あるのか。	市	個人の建物は原則個人。このたびは、業者に頼んで費用がかかったものについて補償するというもの。手伝ってもらった方にお礼というのはいできない。	
	尾原川は決壊した箇所があり、2軒床下浸水があったが、資料中の図に着色がない。また、被災箇所の内、未対策の箇所がある。	県	現地確認する。	
1 2	雨が降るとび新たな土砂が流れてきて、いつまでもどのように対応していいか、困っている。	市	今できる事は、土砂が建物のほうへ流れないように土のうを置いたり、水路の砂を除去し下流へ土砂が流れるようにしていくことなので、できる範囲でやっていく。	
1 3	広報によると、一定の要件で田に流入した土砂を撤去するとあるが、どこまで復旧してくれるのか。	市	現在、補助を受けるために査定的设计をしている。現地確認をして、年内の査定を受けられるよう準備を進めていく。	
	松原川が大きく3ヶ所崩壊しているが、復旧はどこまでやってもらえるか。	県	今年を含めて3年間で対応していく予定。	